

平成 25 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 4,333,902 円

1. 外国人の受入拡大事業 3,611,133 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

ア 新潟県・中国黒龍江省友好県省提携 30 周年記念事業

本県と中国黒龍江省とが昭和 58 (1983) 年に友好県省提携議定書に調印してから 30 周年になることを記念し、黒龍江省において「“新潟杯”日本語スピーチコンテスト」を開催した。また、副賞として、優秀者を新潟旅行に招待した。

- ・日時：11 月 23 日 (土)
- ・会場：黒龍江大学音楽ホール
(黒龍江省ハルビン市)
- ・参加者：18 名 (観覧者約 400 名)
- ・優秀者 (3 名) の新潟旅行招待：



平成 26 年 3 月 24 日 (月) ～28 日 (金)

イ 黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業 (県委託事業)

日本語教師 2 名の派遣に対し助成を行った。

②モンゴル等との技術交流事業

県や関係団体とともに実行委員会を設け、モンゴル等との技術交流事業を実施した。

ア モンゴル国緑化推進技術協力事業

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に、専門家を派遣した。

- ・実行委員会構成団体：

NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県 (国際課・林政課・森林研究所)、(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

- ・専門家派遣：10 月 1 日 (火) ～8 日 (火)

イ モンゴル国中小都市の中小企業等への技術協力事業

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、同国から訪問団を受け入れた。これにより、本県企業と同国企業との連携が生まれ、県産米の輸出等に関する県内企業の同国への進出につながった。

- ・ 実行委員会構成団体：
 - NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課）、（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会
- ・ 訪問団受入：11月30日（土）～12月8日（日）
- ・ 内容：県内製造業・大学・研究機関での視察、意見交換、講義等
- ウ モンゴル国ウランバートル市スフバートル区雨水流末処理技術協力事業
 - ウランバートル市の技術者の道路排水技術の向上を図り、道路湛水被害を軽減させ都市機能の向上に寄与することを目的に、訪問団を受け入れた。
 - ・ 実行委員会構成団体：
 - NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課、都市整備課）、（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会
 - ・ 訪問団受入：平成26年2月8日（土）～15日（土）
- エ ロシア国ハバロフスク市中小企業者との技術研修事業
 - 本県とハバロフスク市との技術交流の拡大を図ることを目的に、訪問団を受け入れた。
 - ・ 実行委員会構成団体：
 - NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会
 - ・ 訪問団受入：平成26年2月24日（月）～28日（金）

（2）留学生就職支援セミナー

留学生の県内企業への就職を促進するため、日本での就職活動に必要な情報の提供や、留学生と企業との意見交換を実施した。

- ・ 期日及び会場：9月25日（水）、ホテル日航新潟
- ・ 主催：（公財）新潟県国際交流協会、新潟地域留学生等交流推進会議
- ・ 共催：新潟県
- ・ 協力：新潟経済同友会、（一社）新潟県経営者協会、（一社）新潟県商工会議所連合会、（公財）環日本海経済研究所
- ・ 参加者：留学生（47名）、企業・団体関係者（22名）、大学等（6名）等、計89名
- ・ 内容：



第1部 講演「企業が求めるこれからのグローバル人材とは」

講師：経営コンサルタント 大竹一雄氏

第2部 ①「留学生OBによる意見発表」

②「留学生と企業との意見交換」

ファシリテーター：新潟経済同友会専務理事 藤澤成氏

アドバイザー：元にいがたインターンシップ推進協議会専務理事 伊藤勝氏

2. アジアを知る事業 347,669円

(1) 国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への県民の関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学等の協力を得ながら、一般県民向けの講座を県内5地区で計8回開催した。

○新潟市（新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」）

①「多種多様な民族と文化の国・ミャンマーの魅力」

新潟大学留学生 カム・ティプマート氏

日時：10月20日（日）13時30分～15時00分

参加者：26名

②「現代中国事情」

(株)家寶代表取締役 胡曉霞氏

日時：11月10日（日）10時30分～12時00分 参加者：39名

③「現代ロシアのジャズとアートの現場に行く」

新潟大学教授 鈴木正美氏

日時：12月8日（日）13時30分～15時00分 参加者：19名

○柏崎市（柏崎市市民プラザ）

①「バングラディッシュの社会・経済事情」

新潟産業大学准教授 アハメド・シャハリアル氏

日時：11月8日（金）19時00分～20時30分 参加者：17名

②「創造都市一都市の創造性とは一」

新潟工科大学准教授 長聡子氏

日時：11月15日（金）19時00分～20時30分 参加者：10名

○南魚沼市（南魚沼市コミュニティホールさわらび）

「グローバル時代の地域社会」

元フジテレビコメンテーター 木村太郎氏

日時：10月12日（土）15時00分～16時30分 参加者：120名

○上越市（上越市市民プラザ）

「グローバリゼーションと韓国の教育 『歴史教育』から『サムソン』へ、そしてESD（持続発展教育）」

上越教育大学大学院教授 釜田聡氏

日時：10月19日（土）13時30分～15時00分 参加者：38名

○佐渡市（真野行政サービスセンター）

「日本酒から見る世界」

尾畑酒造(株)専務取締役 尾畑留美子氏

日時：11月24日（日）13時30分～15時00分 参加者：21名



3. 受け皿整備事業 375,100円

(1) ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実践講座及びホームステイ体験を実施した。

①ホストファミリー実践講座（上越・柏崎会場は説明会）

ア 新潟会場

- ・期日及び会場：10月5日（土）
新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：日本人11名、外国人6名（留学生）

イ 長岡会場

- ・期日及び会場：10月6日（日）、まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：日本人9名、外国人9名（留学生）

ウ 上越会場

- ・期日及び会場：10月8日（火）、上越市市民プラザ
- ・参加者：日本人11名

エ 柏崎会場

- ・期日及び会場：10月10日（木）、柏崎市民プラザ
- ・参加者：日本人8名、外国人2名（在住外国人）

②ホームステイ体験

外国語指導助手及び留学生20人を対象に、18家庭でホームステイ体験を実施した。

- ・期日：11月9日（土）～10日（日） 1家庭1名
- 11月16日（土）～17日（日） 14家庭15名
- 11月23日（土）～24日（日） 3家庭4名

※アンケートに回答した受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。



II 国際協力活動の支援 4,803,775 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 4,803,775 円

(1) 支援助成

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内 NGO または個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

・助成実績：6 件 計 4,050,000 円

(2) 基金運営

① 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

- ・期日：12 月 9 日（月）
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室
- ・参加委員：7 名

② 募金活動

広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募るため、市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼した。

③ 募金実績

(単位：円)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
募金額	244,167	234,625	159,956	137,714	125,993
累 計	14,647,612	14,882,237	15,042,193	15,179,907	15,305,900

Ⅲ 多文化共生の支援 39,096,095 円

5. 国際理解推進事業 3,765,655 円

(1) プレゼンテーションコンテスト

学校での教科や「総合的な学習の時間」及びクラブ活動、その他地域での活動等における国際理解についての学習成果に関するプレゼンテーションコンテストを開催した。なお、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

① プレゼンテーションコンテスト

- ・ 期日：12月14日（土）
- ・ 会場：朱鷺メッセ
- ・ 参加団体：中学生部門 8 チーム、
高校生部門 10 チーム
- ・ 最優秀賞：
〈中学生部門〉新潟市立早通中学校
「『お・も・て・な・し』の心」
〈高校生部門〉ほっしーと愉快的仲間たち（長岡市）
「ひとりひとりの国際交流から…」



② スタディツアー

- ・ 派遣期間：平成26年3月26日（水）～29日（土）
- ・ 派遣先：韓国ソウル市
- ・ 参加者：新潟市立早通中学校 生徒6名、指導者2名
ほっしーと愉快的仲間たち 生徒5名、指導者1名
- ・ 活動内容：永登浦工業高等学校見学及び交流会、ホームステイ、
新潟県ソウル事務所訪問、ソウル市内見学等

(2) 協会広報誌

平成25年度より日本語版に加え英語版も発行した。

- ・ 発行時期：7月（第14号）、1月（第15号）
- ・ 配付先：【日本語版】県内の高校等133校、大学等25校、
図書館・市町村及び民間団体等 計15,000部
【英語版】 県内の公民館・図書館・民間団体等 計4,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

県内の小中高生・大学生及び教員を対象とする全県的な国際理解教育事業を推進するため、行政や関係機関等で構成する国際理解教育推進協議会を開催した。

- ・ 期日及び会場：平成26年2月24日（月）、朱鷺メッセ
- ・ 参加者：17名

- ・議題：会長選出、平成 26 年度構成団体承認
平成 25 年度事業実績・平成 26 年度事業計画
(国際理解教育プレゼンテーションコンテスト、国際交流インストラクター養成事業、国際理解教育推進重点校設置事業)
各団体の事業紹介

6. 在住外国人支援事業 2,137,427 円

地域住民の一員として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び関連事業を実施した。

(1) 相談事業

- ・対応言語：3カ国語（英語、中国語、タイ語）
- ・相談件数：延べ 568 件（窓口相談 243 件、電話相談 325 件）
- ・相談内容：結婚・離婚、在留手続き、福祉・DV、くらし、教育等

(2) 相談・通訳員育成

相談員が不足している地域における人材育成のための研修等を、実績のある民間団体に委託して実施した。

- ・委託先：(公社)上越国際交流協会

(3) 相談関係機関との連携

① 1 日入管インフォメーションセンター

東京入国管理局が実施する「1 日入管インフォメーションセンター」に合わせ、外国人対応ができるよう多言語通訳を配置した。

- ・日時：6 月 7 日（金）10 時 00 分～15 時 00 分
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：5 件

② 行政書士による外国人無料相談会

新潟県行政書士会と共催で行政書士の専門的な分野を中心とする無料相談会を実施し、外国人対応ができるよう多言語通訳を配置した。

ア 新潟県行政書士会新潟支部

- ・日時：10 月 18 日（金）13 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：4 件

イ 新潟県行政書士会

- ・日時：11 月 27 日（水）10 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：5 件

(4) 外国籍児童生徒就学支援

日本語を母語としない子どもと保護者等を対象に、高校への進学等を中心とする日本の学校制度を説明する多言語資料(10言語:日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル)をホームページに掲載した。

7. 留学生支援事業 33,193,013円

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する支援等を実施した。

(1) 国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師を留学生に依頼し、留学生が自国の文化・歴史・自然等を小学生・高校生に紹介した。

・講座実施数3回(小学生2回、高校生1回)



(2) 県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、県内大学院に入学するアジア地域からの私費留学生に対し、入学金及び授業料のそれぞれ2分の1以内の奨学金を交付した。

・助成実績:合計31,332,400円

平成24年度認定分(授業料)

国際大学10名、新潟大学6名、事業創造大学院大学5名、計21名

計12,357,400円

平成25年度認定分(入学金及び授業料)

国際大学12名、新潟大学9名、

事業創造大学院大学9名、

長岡技術科学大学1名、計31名

計18,975,000円



Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 4,034,701 円

8. 民間団体助成事業 3,061,413 円

（1）国際化推進活動助成金の交付

民間団体等が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため、助成金を交付した（年2回）。

- ・助成実績：民間団体等 21 団体（申請団体 25 団体、うち不採用 3 団体、助成決定後取消 1 団体） 計 3,070,000 円
- ・事業内容：在住外国人支援、国際交流事業、アフリカでの医療支援等

（2）研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：平日の原則として 14 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：50 件

9. 民間団体ネットワーク構築事業 108,288 円

（1）国際交流連絡会議

県内 3 地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う連絡会議を開催した。

○長岡会場

- ・期日及び会場：4 月 22 日（月）、まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：17 団体、21 名

○上越会場

- ・期日及び会場：4 月 25 日（木）、上越市市民プラザ
- ・参加者：9 団体、17 名

○新潟会場

- ・期日及び会場：4 月 26 日（金）、朱鷺メッセ
- ・参加者：36 団体、48 名

10. 在外県人会活動支援事業 865,000 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルルの各新潟県人会及び新潟県海外移住家族会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団体名	助成額（円）
ブラジル新潟県人会	450,000
ホノルル新潟県人会	150,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
新潟県海外移住家族会	100,000
合計	850,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,535,094 円

11. 人材育成事業 1,535,094 円

民間の国際交流団体の人材育成と次世代を担う若者の国際理解推進のため、各種支援を行うとともに、当協会としても人材育成事業を実施した。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象とした研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成 26 年 3 月 1 日（土）、クロスパルにいがた
- ・テーマ：「世界から貧困と不平等をなくすため、私たちにできること」
- ・講師：（一財）CSO ネットワーク代表理事 今田克司氏
新潟国際ボランティアセンター代表理事 金子洋二氏
- ・参加者：NGO 団体、学生、個人等 38 名



（2）ボランティアバンクの運営

国際交流に関する事業へのボランティア派遣やボランティアに対する研修会等を実施し、ボランティアバンクのさらなる活性化を図った。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーター（イベント運営ボランティア）の活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 166 名
（英語 106 名、中国語 23 名、韓国・朝鮮語 23 名、スペイン語 5 名、ロシア語 4 名、その他の言語 5 名）
- ・アースサポーター登録者数 67 名
- ・イベント等への紹介数 延べ 85 名

②語学講座

通訳・翻訳ボランティア及び一般県民を対象とする英語、中国語、韓国語の講座及びボランティア交流会を実施した。

開催日：平成 26 年 3 月 1 日（土）

英語：参加者 25 名

韓国語：参加者 8 名

中国語：参加者 12 名

ボランティア交流会：参加者 38 名

（3）国際交流インストラクター養成事業

（新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学・上越教育大学連携事業）大学生 84 名（情報大 27 名、敬和大 22 名、県立大 18 名、上教大 17 名）をインストラクターに委嘱し、小中高生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解教育ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内小・中・高等学校 24 校
（小学校 11 校、中学校 6 校、
高校 7 校）、2 施設
- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、
「異文化理解」



（４）国際理解教育推進重点校設置事業

県内の中学校・高等学校等における国際理解教育の推進及び意識啓発のため、国際理解教育に熱心に取り組んでいる中学校・高等学校等の中から 10 校を選定し、各種国際理解教育メニューを実施し評価してもらった。

実施校：中学校 5 校（上越教育大学附属、西山、与板、五泉北、早通）
高等学校 3 校（海洋、五泉、佐渡）、
中等教育学校 2 校（直江津、高志）

（５）医療支援事業

外国人の医療支援に関心のある者を対象に、先進的な取組団体が様々な事例や多様な支援方法等について講義するセミナーを開催した。

○外国人の医療支援について考えるセミナー

期日及び会場：平成 26 年 2 月 23 日（日）、クロスパルにいがた
講師：（特活）多文化共生センターきょうと理事長 重野亜久里氏
参加者：20 名

（６）災害多言語支援ボランティア育成事業

災害時に外国籍住民等を支援する人材を育成するため、外国語ができる日本人または日本語ができる外国人を対象に、ボランティア育成研修を実施した。

期日及び会場：12 月 8 日（日）、クロスパルにいがた

内容： ①災害時の外国人支援とは ～わたしにもできること～
②ワークショップ 災害時に使う「やさしい日本語」

講師： 多文化共生リソースセンター東海代表理事 土井佳彦氏
参加者：22 名



Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 1,242,301 円

12. 広報・ライブラリー運営事業 696,382 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

（１）PR記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」にPR記事を掲載した（年2回）。

（２）年次報告書発行

平成24年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

（３）プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成26年3月末現在）

- ・ 図書 3,944 冊
- ・ 各種団体発行物
（財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査・会議・フォーラム等の報告書等
- ・ ビデオ 533 本、DVD54 本、CD134 本、CD-ROM 8 本（開発途上地域での NGO 活動を伝える映像資料等）
- ・ 雑誌 31 誌
- ・ 新聞 日本語 2 紙（新潟日報、日本経済新聞）
外国語 4 紙（イェベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、東亜日報）
- ・ その他の資料
県内外の NGO や全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出は賛助会員のみ）

- ・ 図書 9 冊

13. IT活用促進事業 352,800 円

ホームページに各種情報を掲載するとともに、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信した。（配信先 453 カ所）

14. 賛助会員募集事業 59,559 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	21 年度末	22 年度末	23 年度末	24 年度末	25 年度末
個人	28	26	35	30	32
団体	69	69	60	53	56
計	97	95	95	83	88

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 25 件) (県立近代美術館割引券利用件数 10 件)
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (50 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (21 団体、総額 3,070,000 円) ・印刷機・紙折機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書貸出 (9 冊) ・国旗貸出 (86 件)、ふれあい地球人ボックス貸出 (17 件)

15. 国旗等貸出事業 133,560 円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス (民族衣装・グッズ等) の貸出を行った。

貸出実績：国旗 33 団体・86 件

地球人ボックス 9 団体・17 件